



シリーズ

武雄の治水

vol.8

～水と共に生きるまちへ～

六角川は、低平地河川で潮位の影響を受けやすい河川です。
今回は、六角川流域の特徴と現在の整備状況についてお知らせします。

六角川流域の特徴

六角川は、神六山を源に、武雄川などの支川を合わせて低地な白石平野を蛇行しながら流れ、下流部において牛津川と合流して有明海に注いでいます。有明海の約6mにも及ぶ干満差のため、六角川は河口から約29km（橘町大日堰）まで潮が遡ります。潮の満ち引きにより河道にはガタ土が堆積し、ヨシや樹木が繁茂しています。

六角川流域は、堤防と山に挟まれた地域において内水氾濫が発生しやすい地形的特徴があります。武雄市は、周りを山に囲まれ海から遠い低平地のため、排水に時間がかかります。そのため、大雨による内水氾濫時には、市内に10か所ある排水機場によるポンプ排水が実施されます。



▲六角川流域は、約4割が山地、約6割が低平地

六角川の整備状況 ～湛水池の整備が進んでいます～

六角川に繁茂するヨシは、洪水時の流水に大きな抵抗となります。現在、六角川ではヨシの生育を抑制するための工事が進められています。堤防の内側の平らな部分を1m程度掘って水を貯めておく池（^{たんすいち}湛水池）を作ることによって、**今後長期間に渡りヨシが育ちにくい環境を作ります。**河川が流れやすくなり洪水時の水位が低下するため、工事完了後は、昨年8月の大雨と同じ量の雨が降ったとしても、排水ポンプを停止させずにすみます。



▲ヨシ伐採前



▲ヨシ伐採後
湛水池の整備中

→ 川の流れ



▲湛水池整備後のイメージ

NEWS

二俣交差点の車両避難所が完成



整備中であった武雄バイパス（二俣交差点）の車両避難所（約60台分）が完成しました。大雨時などに、災害が発生するおそれがある場合に解放します。自家用車だけでなく農業用機械も避難可能です。

佐賀県・武雄市総合防災訓練を実施しました

9月4日（日）、総合防災訓練を橘町と朝日町で実施しました。佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）と連携した住民同士の図上訓練や、自主防災組織と関係機関が連携した救助訓練を行いました。今回の訓練が更なる地域防災力の向上に繋がるよう努めてまいります。



株式会社リョーユーパン様よりご寄附いただきました

非常食「パン」を3,000食ご寄附いただきました。安心して避難していただくよう非常食として活用させていただきます。この度のご寄附、誠にありがとうございました。



詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

